

様式第6号（第18条関係）

宮崎市地域コミュニティ活動交付金実績報告書

令和6年3月29日

宮崎市長 清山知憲 殿

主たる事務所の所在地	宮崎市大字浮田3000-1
名 称	生目地区振興会
代表者の氏名	会長 長友一生 印
電話番号	48-1201

令和5年4月14日付けで交付決定のありました宮崎市地域コミュニティ活動交付金については、宮崎市地域コミュニティ活動交付金に関する規則第18条第1項の規定により、関係書類を添えて実績報告書を提出します。

添付書類

- (イ) 事業実施報告書
- (ロ) 収支決算書又は収支決算見込書
- (ハ) 事業別収支計算書
- (ニ) 積立金管理状況報告書
- (ホ) その他

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

生目地域自治区

生目地区振興会

1 総括

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が小さくなる中、まちづくり事業の取り組みについては、概ね順調で計画どおり実施できました。ただ、まちづくりのメンバーは旧態依然として、高齢者が中心であり、また、会員が増加する気配も感じられません。今後のまちづくり会員の拡大について、何らかの対応が急務となっている。

2 収支決算

(1) 収入の部

(単位：円)

項 目	予 算	決 算	差	備 考
地域コミュニティ活動交付金	2,968,000	2,968,000	0	
繰越金	973,845	973,845	0	
自己資金	500,022	514,821	14,799	
合 計	4,441,867	4,456,666	14,799	

(2) 支出の部

分野	事 業 名	実施年数	予 算	決 算	差	備 考
防	地域防災事業	14年目	145,800	127,322	▲ 18,478	
〃	生目っ子見守り事業	14年目	325,500	255,294	▲ 70,206	
〃	防犯パトロール事業	14年目	444,000	388,016	▲ 55,984	
〃	有害鳥獣被害防止事業	12年目	55,000	43,318	▲ 11,682	
福	居場所づくり事業	5年目	218,000	29,861	▲ 188,139	
〃	レクリエーション大会事業	9年目	218,000	85,588	▲ 132,412	
環	自然と環境を守る事業	13年目	391,400	333,991	▲ 57,409	
再	半ぴどん顕彰事業	12年目	101,200	6,185	▲ 95,015	
〃	生目音頭保存事業	12年目	356,500	323,970	▲ 32,530	
伝	里神楽事業	12年目	190,000	146,919	▲ 43,081	
〃	文化財広報活動事業	12年目	320,600	129,581	▲ 191,019	
他	広報運営事業	13年目	1,675,867	1,587,775	▲ 88,092	
繰 越 金				998,846		
合 計			4,441,867	4,456,666	14,799	

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	地域防災事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。														
目的 (期待される効果)	防災訓練等を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	(1) 図上訓練 会場：生目地区交流センター 多目的ホール 実施時期：6月11日 内 容：図上訓練 参加人数：65人 (2) 総合防災訓練事前研修 会場：生目地区交流センター 多目的ホール 実施時期：8月27日 内 容：ロープワーク、簡易担架、心肺蘇生について（AED） 参加人数：78人 (3) 総合防災訓練 会場：生目地区交流センター、各自治公民館 実施時期：9月3日 参加人数：708人 内 容：情報伝達、各地区での防災訓練 (4) 生目中学校防災学習の支援 会場：生目中学校体育館 実施時期：9月22日 参加人数：217人 内 容：図上訓練 他														
事業費	127,322円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>1,006人</td><td>1,251人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>62人</td><td>42人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,068人</td><td>1,293人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	1,006人	1,251人	スタッフ	62人	42人	合 計	1,068人	1,293人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	1,006人	1,251人													
スタッフ	62人	42人													
合 計	1,068人	1,293人													
住民の声（アンケートの結果等）	特になし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	平成17年に水害を経験していることから、ニーズは高い。自治会長会で意見交換。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	A	A	生目中学校一年生と職員の若い世代が参加。			⑥課題解決への作用	B	B	将来を担う若い世代が毎年防災研修を受講することは、生目の防災についての課題解決に大いに寄与する。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会からの要望を受け取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	B	B	特になし
	④各種団体との連携	A	A	自主防災隊 生目地域センター SVC生目 生目地区防災士		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞								
		特になし								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ 若い世代の人たちが参加していただけるような、魅力ある内容、計画が必要だと感じる。人材育成もお願いしたい。高齢者が多く、ハザードマップ地域内に居住する人が多いため、定期的な訓練は引き続き行ってほしい。 ＜意見への対応＞ まちづくり事業として、以前から取り組んでいるが、さらに充実できるよう取り組みたい。							対応	未・済
		＜地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞							対応	未・済

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	生目っ子見守り事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。														
目的 (期待される効果)	生目っ子見守り事業を通して、地域の安心・安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	(1) 児童の登下校時の見守りパトロール活動 実施時期：学校休業日を除く毎週月～金曜日 7:10～8:00 15:00～17:00 内 容：登下校時の見守り、徒歩・自転車での地域のパトロール 参加人数：見守り隊 161人 (2) 見守り隊員の講習会 実施時期：2月28日 内 容：見守り活動中の安全対策、道路交通法改正についての講習 参加人数：37人 (3) 見守り用具の整備 内容：交通安全旗等の補充														
事業費	255,294円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>9,600人</td><td>9,600人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>合 計</td><td>9,600人</td><td>9,600人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	9,600人	9,600人	スタッフ			合 計	9,600人	9,600人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	9,600人	9,600人													
スタッフ															
合 計	9,600人	9,600人													
住民の声（アンケートの結果等）	保護者や学校から感謝の声が寄せられる。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各地区の実情に合った組織、運営にするため、自治会が中心となっていて、自治会定例会などで意見を集約。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ	
	②住民の参加	B	B	活動の時間帯が親世代ではなかなか難しく、高齢者がほとんどである。		事業の効果	⑥課題解決への作用	A	A	安心安全なまちづくりを推進するとともに、見守り活動に参加することで子ども達と交流が生まれ、絆づくりにもなっている。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	生目地区を網羅するまちづくりならではの取り組みである。			⑦住民の満足度	A	A	特になし	
	④各種団体との連携	A	B	自治会 学校 PTA さんさんクラブ		事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ 特になし									
地域協議会からの意見への対応	＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ 一人で登校する子どもも少なくないが、見守り隊がいるから大丈夫という声を多く聞く。特に低学年の子どもや保護者にとっては安心する存在だと感じる。雨風にかかわらず毎朝見守りやパトロールをしていただく方々にはもっと感謝の気持ちを伝えたい。 ＜意見への対応＞ 子ども達の安全のため、今後とも、継続して取り組みます。					対応		未・済			
						対応		未・済			
	＜地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）＞ ＜意見への対応＞					対応		未・済			

※「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	防犯パトロール事業	実施年数	14年目												
事業期間	開始：平成22年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎地域の防犯、防災、交通安全等の取組 自分たちの命は自分たちで守る・・・自助 地域ぐるみで災害から人命、財産を守る・・・共助 防災意識の向上を図り、活動を展開する。														
目的 (期待される効果)	防犯パトロール事業を通して、犯罪を未然に防止し、地域の安全を守る。														
事業内容・手段	(1) 防犯パトロールの実施 実施時期：令和5年4月1日～令和6年3月31日 内 容：生目地域自治区を青パト8台でパトロール 1台につき月平均9回 参加人数：延べ891人														
事業費	388,016円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>人</td><td>人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>891人</td><td>864人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>891人</td><td>864人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	人	人	スタッフ	891人	864人	合 計	891人	864人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	人	人													
スタッフ	891人	864人													
合 計	891人	864人													
住民の声（アンケートの結果等）	犯罪の抑止力になり、心強いとの声が多い。 青パト車を見ると安心感がある。時間帯も合っていてありがたいと感じる。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	学校や保護者、自治会からの要望で事業を立案、推進している。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	振興会の広報誌 フェイスブック チラシ	
	②住民の参加	B	B	若い隊員を募集しているが、パトロールの時間と仕事の時間が重なりなかなか難しい。			⑥課題解決への作用	B	B	地域の安全安心づくりにつながる	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	生目地区を網羅するまちづくりならではの取り組みである。				⑦住民の満足度	A	B	多くの住民が感謝している。
	④各種団体との連携	A	B	生目地区社協 生目地区青少協 学校 交番		事業継続の必要性				有 ・ 無	
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 特になし									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・事業報告）>						対応	未 ・ 済			
	<意見への対応>										
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>						対応	未 ・ 済			
	<意見への対応>										

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	有害鳥獣被害防止事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 3. 地域の安心安全づくり ◎安心安全なまちづくりを目指し、各種の予防活動を行う。														
目的 (期待される効果)	猪や猿などの有害鳥獣による農作物や人への被害を防止し、安心安全なまちづくりを推進する。														
事業内容・手段	(1) 有害鳥獣についての勉強会 会 場：生日地区交流センター 実施時期：7月19日 内 容：有害鳥獣についての講演会 参加人数：13人 (2) 有害鳥獣捕獲用罠の購入、管理 会 場：生日地区内 実施時期：通年 内 容：罠の管理														
事業費	43,318円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和 5 年度</td><td>令和 4 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>10人</td><td>30人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>3人</td><td>5人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>13人</td><td>5人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和 5 年度	令和 4 年度	一般参加者	10人	30人	スタッフ	3人	5人	合 計	13人	5人
年 度	令和 5 年度	令和 4 年度													
一般参加者	10人	30人													
スタッフ	3人	5人													
合 計	13人	5人													
住民の声 (アンケートの結果等)	有害鳥獣被害防止の啓発活動で「猿」が少なくなった。														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	有害鳥獣の被害をゼロにするのが住民の願いである。	#事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシの配布（保育所、公民館、学校、公立公民館、自治会）、フェイスブック
	②住民の参加	B	B	収穫しない果樹などを放置しないなどの努力をしている。			⑥課題解決への作用	B	B	安心安全なまちづくりにつながった。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会連合会からの要望を受け、取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	B	B	猿の被害が少なくなり感謝されている。
	④各種団体との連携	B	B	野生猿対策組合 猿パトロール隊 自治会連合会		事業継続の必要性				有 ・ 無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ なし								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ イノシシ対策には、いつも悩まされているので、予算が許す限りわなは必要だと思う。定期的な見回りの効果もありサルの出没はなくなったようだが、イノシシの被害は甚大なものがあり、継続した対策が必要。実際に捕獲活動をされている方の話も聞きたい。 ＜意見への対応＞ 今後も情報発信につとめ、地域ぐるみの被害防止対策を取り組みたい。					対応		未・済	
		＜地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）＞					対応		未・済	
		＜意見への対応＞								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	居場所づくり事業	実施年数	5年目												
事業期間	開始：平成31年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎子供から高齢者、要支援者等を地域ぐるみで支える福祉のまちづくり														
目 的 (期待される効果)	高齢者の介護予防や引きこもり、孤独死の予防。 子どもから高齢者まで世代を超えた交流や地域コミュニティの確立。														
事業内容・手段	(1) フードバンクの実施（民児協と共催） ※受益者が地区外のため開催断念 (2) えんがわサロンの実施 会 場：①跡江自治公民館 ②下小松自治公民館 ③長嶺地区 実施時期：①7月15日 ②12月21日 ③2月25日 内 容：世代交流や高齢者の健康・生きがいつくり 参加人数：①24人 ②27人 ③6人														
事業費	29,861円														
対 象 者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>89人</td><td>789人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>5人</td><td>2人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>94人</td><td>791人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	89人	789人	スタッフ	5人	2人	合 計	94人	791人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	89人	789人													
スタッフ	5人	2人													
合 計	94人	791人													
住民の声（アンケートの結果等）	特になし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	2025年問題、高齢化率の高さなどニーズは高い。	#事業の効果	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	B	A	事業内容変更後の説明不足により、開催地区が少なく参加者も少なかった。			⑥課題解決への作用	B	B	高齢者、要支援者を地域ぐるみで支える福祉のまちづくりの課題解決につながる。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	まちづくり推進委員会ならではの取り組みである。			⑦住民の満足度	B	B	住民が満足する状態になるにはもう少し時間がかかる。
	④各種団体との連携	A	A	生目地区社協 生目・小松台地区 地域包括支援センター 宮崎市社協 さんさんクラブ		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ 途中で断念している居場所づくりの理念を思い起こし、協議のうえ、本来の居場所づくりを目標に向かって今一度前進させたい。子どものクリスマス交流は脳の活性化につながるので良い内容だと思う。茶話会の対象を明確化してほしい。 ＜意見への対応＞ 理想とする居場所づくりの概念がまとまっていない状況であるが、地域の意見を聞いて取り組んで行きたい。					対応		未・済	
		＜地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）＞ ＜意見への対応＞					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	レクリエーション大会事業	実施年数	9年目												
事業期間	開始：平成27年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎地域におけるコミュニティ保持 ◎地域間・世代間の交流を深め、さらなる絆づくりに取り組む。														
目 的 (期待される効果)	地域の絆づくりを推進する。														
事業内容・手段	内 容：①ミニバレーボール大会 ②グラウンドゴルフ大会 ③健康スポーツ大会 実施時期：①10月1日 ②11月16日 ④3月12日 会 場：①生目地区交流センター多目的ホール ②生目古墳群史跡公園 ③生目地区交流センター多目的ホール 参加人数：①133人 ②114人 ③24人														
事業費	85,588円														
対 象 者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>278人</td><td>558人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>31人</td><td>22人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>309人</td><td>580人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	278人	558人	スタッフ	31人	22人	合 計	309人	580人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	278人	558人													
スタッフ	31人	22人													
合 計	309人	580人													
住民の声（アンケートの結果等）	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	地域からの要望が直接寄せられる。	#	広報	⑤事業の周知	A	A	広報誌 フェイスブック チラシ
	②住民の参加	A	B	特になし			⑥課題解決への作用	A	A	絆づくりにつながる。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	各団体からの要望を受け取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	B	B	コロナ禍の中事業に対して満足は得られていない。
	④各種団体との連携	A	A	生目地区さんさんクラブ連合会		事業継続の必要性		有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> なし								
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）> 部会員で協議された内容が、行事本番に反映されておらず、事務局、部会長間で変更されている場所が多々あることに疑問に感じる。協議の場での決定事項はそのまま反映させていただきたい。生目はスポーツに強いイメージが昔からあるし、居場所づくりに関係するのでぜひ活発なレクリエーションを期待したい。 <意見への対応> 地域の意見を聞いて実施していきたい。				対応	未・済				
	<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）> <意見への対応>				対応	未・済				

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	自然と環境を守る事業		実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度		終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり															
目的 (期待される効果)	里山・大谷川遊歩道ウォーキング大会やホテル観察会を通して自然環境保護に対する理解を深める。 自然のすばらしさを地区内外に発信し、地域の活力づくりにつなげる。															
事業内容・手段	(1) ホテル観賞会 会 場：宮の下川上流 実施時期：5月13日(土) 内 容：ホテルの生態学習と観賞 参加人数：雨のため中止 (2) 里山遊歩道整備 会 場：①里山遊歩道 実施時期：①2月10日 ②4月10日、6月17日、8月17日、10月16日、11月14日 内 容：草刈り作業、遊歩道整備 参加人数：①9人 ②5人 (3) 石塚城址公園の整備 会 場：石塚城址公園 実施時期：4月22日、6月16日、9月2日、10月21日、12月25日 内 容：除草作業、花の植栽等 参加人数：延べ41人 (4) 生目の里山・史跡を巡る里山散策会 会 場：大谷川・里山遊歩道 実施時期：2月17日 内 容：里山散策会 参加人数：60人 (5) 大谷川環境美化活動 会 場：大谷川流域 実施時期：3月3日 内 容：草刈り、ゴミ拾い、清掃活動 参加人数：78人															
事業費	333,991円															
対象者	地域住民															
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和 5 年度</td><td>令和 4 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>127人</td><td>162人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>66人</td><td>81人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>193人</td><td>243人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ				年 度	令和 5 年度	令和 4 年度	一般参加者	127人	162人	スタッフ	66人	81人	合 計	193人	243人
年 度	令和 5 年度	令和 4 年度														
一般参加者	127人	162人														
スタッフ	66人	81人														
合 計	193人	243人														
住民の声（アンケートの結果等）																

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項	
		本年度	前年度					本年度	前年度		
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	事業実施後に参加者に意見を聞き、次年度の事業を計画、実施している	#事業の効果	広報	⑤事業の周知	A	A	チラシ配布 公立公民館に設置 フェイスブック スーパーにチラシ掲示	
	②住民の参加	A	A	ホタル観賞では、学校には周知していなかったが、多くの子供たちの参加応募があったが、雨のため中止。			⑥課題解決への作用	A	A	自然保護の課題解決につながった。	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	学校や地域の要望を受け、取り組んでいる事業である。				⑦住民の満足度	A	A	ホタル観賞会では、子供たちが初めて見る機会だったが雨のため中止となり残念だった。
	④各種団体との連携	B	B	生目地区自治会連合会		事業継続の必要性				有・無	
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ コロナ禍の中、ホタル観賞会を工夫して実施することができた。									
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ 回覧や学校からチラシが回ってきた。アピール方法は良いと思う。 ＜意見への対応＞ 今後も、引き続き広報活動に努めていきます。						対応		未・済	
		＜地域協議会からの意見（令和5年3月・事業報告）＞ ＜意見への対応＞						対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	半びどん顕彰事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり														
目的 (期待される効果)	魅力的な生目の「たから」を活かした地域の活力づくりを推進する。 「半びどん」の知名度を上げ、地域おこしにつなげる。														
事業内容・手段	(1) 生目小学校学習支援 ・学校からの要請なく、実施せず。 (2) 紙芝居の作成(10月～2月) ・紙芝居舞台作成と紙媒体で1話作成した。 (3) はんびどん劇の上演 ・上演については、要望なく披露する機会がなかった。														
事業費	6,185円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和 5 年度</td><td>令和 4 年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td></td><td>101人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>4人</td><td>4人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>4人</td><td>170人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和 5 年度	令和 4 年度	一般参加者		101人	スタッフ	4人	4人	合 計	4人	170人
年 度	令和 5 年度	令和 4 年度													
一般参加者		101人													
スタッフ	4人	4人													
合 計	4人	170人													
住民の声（アンケートの結果等）															

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	B	B	特になし	#事業の効果	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	B	A	特になし			⑥課題解決への作用	A	A	「地域活力の低下」の課題解決につながる。
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	地域おこしにはまたとない事業である。			⑦住民の満足度	B	B	特になし
	④各種団体との連携	B	B	各地区自治会 生目小学校 市教育委員会		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 積極的に、はんぴどんマグネットシールをアピールし自動車に貼って走っている。 (計30台程)								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見(令和6年3月・事業報告)> はんぴどんの紙芝居、DVDを活用し、はんぴどん顕彰を頑張ってもらいたい。生目小まつりが廃止になってなかなか関わりが少なくなっていると感じる。代替えの方法を見つけるべき。 <意見への対応> はんぴどん劇の開催やDVDを活用して、浸透を図ります。生目小まつりの復活については学校と協議します。					対応		未・済	
		<地域協議会からの意見(平成 年 月・)> <意見への対応>					対応		未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	生目音頭保存事業	実施年数	11年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の絆づくり ◎地域間・世代間の交流を深め、さらなる絆づくりに取り組む。														
目的 (期待される効果)	生目音頭の保存・継承を推進する。														
事業内容・手段	(1) 施設や小学校、地域等での生目音頭の指導 (2) 「生目ふるさとまつり」での総踊り 会 場：生目古墳群史跡公園 実施時期：10月15日 内 容：生目音頭の継承 参加人数：34人														
事業費	323,970円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年 度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td>118人</td><td>22人</td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>22人</td><td>8人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>140人</td><td>30人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	118人	22人	スタッフ	22人	8人	合 計	140人	30人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	118人	22人													
スタッフ	22人	8人													
合 計	140人	30人													
住民の声（アンケートの結果等）	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	学校や地域の要望を受け取り組んでいる。	#	広報	⑤事業の周知	B	B	広報誌 フェイスブック
	②住民の参加	A	B	開催機会もおおくなり、全体的に参加者が多くなった。			⑥課題解決への作用	B	B	絆づくり。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	B	B	まちづくり推進委員会ならではの事業である。			⑦住民の満足度	B	B	特になし。
	④各種団体との連携	A	A	小学校 保育園・幼稚園 施設等 地域自治会		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 音源を新しくCDに起こし、保存会メンバーと合同練習を行った。								
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）> 様々な行事に参加していただき、伝承することができると思う。新しい地区（心町など）人数の多い所で行うと、もともと生目の出身でない方も生目を好きになるのではないかと思う。 <意見への対応> 生目地区全域で親しまれるよう、生目音頭の保存・継承をさらに継続します。							対応	未・済
		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>							対応	未・済
		<意見への対応>								

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

年 度	令和 5 年度	令和 4 年度
一般参加者	447人	447人
スタッフ	11人	11人
合 計	458人	458人

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項	評価項目		評価		特記事項		
		本年度	前年度				本年度	前年度			
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	終了時にアンケートを取り、次年度の事業を計画・実施している。	#事業の効果	広報	⑤事業の周知	B	B	チラシの世帯配布 フェイスブック 広報誌	
	②住民の参加	A	A	講座にも散策会にも大勢の人が参加してくれた。			⑥課題解決への作用	A	A	文化財を掘り起こして保存継承することにより、地域の絆づくり、活性化につなげる。	
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	協議会からの要望を受け、取り組んでいる事業である。				⑦住民の満足度	A	A	参加者からとても充実した内容だったと好評だった。
	④各種団体との連携	A	A	各自治会 学校		事業継続の必要性			有・無		
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> なし									
地域協議会からの意見への対応		<地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）> ○妙円寺跡石塔群も美しくなり、もっとアピールを他県、他地区にも行い人流を増やすきっかけになればと思う。回覧に係る情報発信・周知の手段の検討が必要。各種集会や小中学校での広報・学習支援などを生かしたい。 <意見への対応> ○あらゆる機会をとらえて、妙円寺跡石塔群の魅力発信に努めます。							対応	未・済	
		<地域協議会からの意見（平成 年 月・ ）>							対応	未・済	
		<意見への対応>									

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	里神楽事業	実施年数	12年目												
事業期間	開始：平成24年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連	基本目標 1. 地域の活力づくり ◎地域の自然、産業、文化等の資源活用による地域の活力づくり。														
目的 (期待される効果)	伝統芸能である里神楽の保存と継承を推進する。														
事業内容・手段	(1) 神楽開催の広報 本年度は、ようやくコロナ感染症が鎮静化し、全地区(9地区)で開催することができ、久々に「神楽の音」が各地区で響きました。またリーフレットも7地区で作成し、地域への啓発に務めました。														
事業費	146,919円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>令和5年度</th><th>令和4年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般参加者</td><td>不明</td><td>不明</td></tr> <tr> <td>スタッフ</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>人</td><td>人</td></tr> </tbody> </table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年 度	令和5年度	令和4年度	一般参加者	不明	不明	スタッフ			合 計	人	人
年 度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者	不明	不明													
スタッフ															
合 計	人	人													
住民の声(アンケートの結果等)	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項		評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度					本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握	A	A	各集落の伝統芸能である里神楽の保存と継承は住民すべての願いである。	#事業の効果	広報	⑤事業の周知	B	B	フェイスブック 広報誌
	②住民の参加	B	B	各地区での開催のため、把握は難しい。			⑥課題解決への作用	A	A	伝統芸能である里神楽の保存継承は地域の歴史を知り、絆を深め、地域の結束が図れる。
効果的・効率的な取り組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性	A	A	自治会、神楽保存会の要望を受け、取り組んでいる事業である。			⑦住民の満足度	B	B	
	④各種団体との連携	B	B	各自治会 神楽保存会		事業継続の必要性				有・無
良かった点・改善点等		＜良かった点や改善した点等＞ なし								
地域協議会からの意見への対応		＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ 地域の方に伝統文化に興味を持っていただけるようにリーフレットの写真等に工夫をこらす必要がある。 ＜意見への対応＞ 神楽のリーフレットは作成は、早めに取りかかり魅力ある神楽の啓発に努めます。						対応	未・済	
		＜地域協議会からの意見（令和6年3月・事業報告）＞ 各地区で行われる神楽のことなのか、この里神楽は何を示すのか理解できていない。差別化をする必要がある。 ＜意見への対応＞ 伝統行事である、里神楽、秋祭り等については、地域に定着するよう努めます。						対応	未・済	

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

3 実施報告

令和5年度 事業実施報告・収支決算書

事業名	広報運営事業	実施年数	13年目												
事業期間	開始：平成23年度	終了：なし													
地域魅力発信 プランとの関連															
目的 (期待される効果)	まち推の広報と円滑な運営。														
事業内容・手段	まち推の広報、運営。														
事業費	1,587,775円														
対象者	地域住民														
参加者数 (内訳)	<table><tr><td>年度</td><td>令和5年度</td><td>令和4年度</td></tr><tr><td>一般参加者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>スタッフ</td><td>4人</td><td>4人</td></tr><tr><td>合計</td><td>4人</td><td>4人</td></tr></table> ※事業内容に応じて男女別や年代別データ			年度	令和5年度	令和4年度	一般参加者			スタッフ	4人	4人	合計	4人	4人
年度	令和5年度	令和4年度													
一般参加者															
スタッフ	4人	4人													
合計	4人	4人													
住民の声（アンケートの結果等）	なし														

◆自己評価（評価：A 良い B 普通 C 要改善）

評価項目		評価		特記事項			評価項目		評価		特記事項
		本年度	前年度						本年度	前年度	
住民主体のまちづくり	①地域ニーズの把握			該当せず	#	広報	⑤事業の周知			広報誌 フェイスブック	
	②住民の参加			該当せず		事業の効果	⑥課題解決への作用			該当せず	
効果的・効率的な取組み	③地域まちづくり推進委員会の取組としての妥当性			該当せず		⑦住民の満足度			該当せず		
	④各種団体との連携			該当せず		事業継続の必要性		有・無			
良かった点・改善点等		<良かった点や改善した点等> 経費の削減に努めた。									
地域協議会からの意見への対応	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済			
	<意見への対応>										
	<地域協議会からの意見（令和 年 月・ ）>						対応	未・済			
	<意見への対応>										

※ 「地域協議会からの意見への対応」の欄は、地域協議会で出された意見とその対応を記載します。その際、「対応」の欄が『未』の場合は、継続して記載し、「対応」の欄が『済』になった場合は、次回以降の事業計画、又は事業実施報告の当該欄を記載する必要はありません。

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	地域防災事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	127,322	
3	自己資金		
4	合計 (A)	127,322	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
4	需用費	125,322	図上訓練用地図 (自治会 用) 13 枚 34,265
			生目中学校図上訓練用地図 29 枚 41,205
			お茶代 24本 × 7 箱 14,460
			図上訓練用シート 15枚 16,184
			ゴミ袋他消耗品 1,792
			生目中学校図上訓練用文具 5,416
			訓練時スタッフ用弁当代 @ 500 × 24 個 12,000
5	役務費	2,000	総合防災訓練事前研修用障害保険料 2,000
9	原材料費		
10	備品購入費		
11	積立金		
12	合計 (B)	127,322	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	生目っ子見守り事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	255,294	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	255,294	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
4	需用費	206,644	幟旗 @ 858 × 50 枚 42,900
			見守り隊ユニホーム (ジャンパー) 30 着 85,100
			幟旗ポール用栓 @ 412 × 7 本 2,884
			ホッカイロ 161名分 54,096
			誘導棒 6 本 17,440
			お茶代 48 本 4,224
5	役務費	48,650	ボランティア保険料 @ 350 × 139 名 48,650
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	255,294	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	防犯パトロール事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	388,016	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	388,016	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	388,016	第1 四半期ガソリン代	8 台分 126,657
			第2 四半期ガソリン代	8 台分 87,521
			第3 四半期ガソリン代	8 台分 101,794
			第4 四半期ガソリン代	8 台分 72,044
5	役務費	0		
9	原材料費	0		
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計 (B)	388,016		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区
生目地区振興会

事業名	有害鳥獣被害防止事業
-----	------------

(1) 収入の部 (単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	43,318	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	43,318	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
4	需用費	0	
5	役務費	880	振込手数料
9	原材料費	0	
10	備品購入費	42,438	イノシシ捕獲用箱罟
11	積立金	0	
12	合計 (B)	43,318	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	居場所づくり事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	29,861	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	29,861	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
2	報償費	0	
4	需用費	28,861	えんがわサロン (跡江地区食材料) 8,261
			えんがわサロン (下小松地区菓子・消耗品) 8,879
			えんがわサロン (長嶺地区オープンガーデン) 11,721
5	役務費	1,000	傷害保険料 1回分 1,000
7	使用料及び賃借料	0	0
10	備品購入費	0	
12	合計 (B)	29,861	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	レクリエーション大会事業
-----	--------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	0	
2	繰越金	85,588	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	85,588	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
4	需用費	55,188	ミニバレーボール賞品代
			14,976
			健康スポーツ賞品代
			6,270
			ボール代
			13,992
			スタッフ弁当代 @ 500 × 20
			10,000
			ミニバレーボール衛生用品
			2,195
			コピー用紙 @ 2585 × 3
			7,755
5	役務費	4,000	ミニバレーボール大会傷害保険料
			3,000
			健康スポーツ大会傷害保険料
			1,000
6	委託料	26,400	グラウンドゴルフ大会テントリース設営撤去
			26,400
1 2	合計 (B)	85,588	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	自然と環境を守る事業
-----	------------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	279,945	
2	繰越金	44,446	
3	自己資金	9,600	
4	合計(A)	333,991	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
4	需用費	61,531	コピー用紙 @ 2585 × 3 7,755
			刈払機替刃代 10枚 22,000
			作業時熱中症対策飲み物代 2,372
			ビューボード(作業道具) 3,630
			ポリ袋 1,294
			里山散策完歩賞 24,480
5	役務費	11,060	ホタル観賞会傷害保険料 2,250
			除草作業時傷害保険料 1回 6,810
			里山散策会傷害保険料 2,000
7	使用料及び賃借料	15,000	遊歩道整備刈払機借上げ代 @ 3000 × 5 15,000
8	委託料	246,400	石塚城址公園草刈り業務委託 246,400
12	合計(B)	333,991	

収支差額(A) - (B)	0
---------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	半ぴどん顕彰事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	6,185	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	6,185	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
2	報償費	0	
4	需用費	6,185	紙芝居用舞台作成材料代
			紙芝居作成材料代 (台紙)
5	役務費	0	
9	原材料費	0	
10	備品購入費	0	
11	積立金	0	
12	合計 (B)	6,185	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	生目音頭保存事業
-----	----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	323,970	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	323,970	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	21,200	スタッフ用お茶代 (熱中症対策)	4,200
			スタッフ用弁当代 @ 500 × 34	17,000
5	役務費	2,770	傷害保険料	2,770
7	使用料及び賃借料	300,000	テント・テーブル他リース料	300,000
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計 (B)	323,970		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	里神楽事業
-----	-------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	146,919	
2	繰越金	0	
3	自己資金	0	
4	合計 (A)	146,919	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳	
4	需用費	146,919	神楽消耗品代(半紙、他)	41,979
			神楽消耗品代(色紙5色)	104,940
5	役務費	0		
9	原材料費	0		
10	備品購入費	0		
11	積立金	0		
12	合計 (B)	146,919		

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	文化財広報活動事業
-----	-----------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	119,381	
2	繰越金	0	
3	自己資金	10,200	カルタ売り上げ
4	合計 (A)	129,581	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
2	報償費	15,000	講師謝礼 @ 3,000 × 3回 9,000
			講師謝礼 @ 6,000 × 1回 6,000
3	旅費交通費	10,000	ガイドブック編成会議 @ 2,000 × 5人 10,000
4	需用費	19,331	チラシ用紙 7,755
			妙円寺跡石塔群整備弁当代 @ 500 × 8回 4,000
			妙円寺まつり材料代 7,576
5	役務費	0	
6	委託料	55,000	平岩石塔群標柱設置 55,000
7	使用料及び賃借料	30,250	妙円寺まつり仮設トイレ設置 30,250
1 2	合計 (B)	129,581	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

事業別収支計算書

生目地域自治区

生目地区振興会

事業名	広報運営事業
-----	--------

(1) 収入の部

(単位：円)

番号	項目	金額	備考
1	地域コミュニティ活動交付金	1,092,754	
2	繰越金	0	
3	自己資金	495,021	預金利息、印刷代他
4	合計 (A)	1,587,775	

(2) 支出の部

番号	科目	金額	内 訳
1	手当	219,450	事務局時間外手当 @ 950 × 231 時間 219,450
3	旅費	6,000	まちづくり県民の集い @ 1,000 × 6 人 6,000
4	需用費	669,828	振興会だより印刷代 2 回 65,010
			プリンタートナー 223,770
			ファイル他文具代消耗品代 26,193
			コピー用紙 18,095
			新型コロナウイルス感染予防対策費 0
			部会用お茶代 10,500
			印刷機消耗品代 (インク、マスター) 326,260
5	役務費	124,897	はがき・切手代 6,300
			電話・インターネット通信費 79,737
			プリンタートナー処分料 2,810
			ボランティア活動保険 @ 350 × 103 36,050
6	委託料	0	
7	使用料及び賃借料	567,600	コピー機使用料 @ 47,300 × 12 567,600
1 2	合計 (B)	1,587,775	

収支差額 (A) - (B)	0
----------------	---

(様式第7号)

積立金管理状況報告書

生目地域自治区

生目地区振興会

積立金名称	災害時積立金
-------	--------

積立金の収支 (単位：円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	前年度までの積立額	1, 000, 779	
2	積立額	0	
3	取崩額	0	
4	雑収入	8	預金利息
5	合 計	1, 000, 787	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合 計	0	

積立金名称	
-------	--

積立金の収支 (単位：円)

番号	項 目	金 額	備 考
1	前年度までの積立額		
2	積立額		
3	取崩額		
4	合 計	0	

(様式第9号)

宮崎市地域コミュニティ活動交付金繰越届出書

令和6年3月29日

宮崎市長 殿

主たる事務所の所在地 宮崎市大字浮田3000-1

名 称 生目地区振興会

代表者の氏名 会長 長友一生 印

電話番号 48-1201

令和5年5月4日付けで交付決定のありました地域コミュニティ活動交付金については、決算において、998,846円の残金があり、繰越金として次年度の会計へ繰り越します
ので届け出ます。

添付書類

令和5年度収支決算書

令和5年度生目地区振興会（まちづくり推進委員会）への意見書

生目地域自治区地域協議会
会長 日高 富士美

令和5年度の生目地区振興会（まちづくり推進委員会）の地域まちづくりについては、事業計画及び予算に沿って適正に執行されていきましたので、承認いたします。なお、承認に際し、下記の意見がありましたので今後の運営に反映して頂くようお願いします。

記

1. 総括

2. 事業の推進体制

3. 各事業への意見

（1）防犯・防災

事業名	意見
地域防災事業	若い世代の人たちが参加していただけるような、魅力ある内容、計画が必要だと感じる。人材育成もお願いしたい。 高齢者が多く、ハザードマップ地域内に居住する人が多い為、定期的な訓練は引続き行って欲しい。
生目っ子見守り事業	1人で登校する子どもも少なくないが、見守り隊がいるから大丈夫という声を多く聞く。特に低学年の子どもや保護者にとっては安心する存在だと感じる。雨風にかかわらず毎朝見守りやパトロールをして頂く方々にはもっと感謝の気持ちを伝えたい。
防犯パトロール事業	

（2）健康福祉

事業名	意見
居場所づくり事業	途中で断念している居場所づくりの理念を思い起こし、協議のうえ、本来の居場所づくりを目標に向かって今一度前進させたい。 子どものクリスマス交流は脳の活性化にもつながるので良い内容だと思う。茶話会の対象を明確化してほしい。
レクリエーション大会事業	部会員で協議された内容が、行事本番に反映されておらず、事務局、部会長間で勝手に変更されている場所が多々あることに疑問を感じる。協議の場での決定事項は、そのまま反映させていただきたい。 生目はスポーツに強いイメージが昔からあるし、居場所づくりにも関係するのでぜひ活発なレクリエーションを期待したい。

(3) 環境

事業名	意見
自然と環境を守る事業	回覧や学校からもチラシが回ってきた。アピール方法は良いと思う。
有害鳥獣被害防止事業	イノシシ対策にはいつも悩まされているので、予算が許す限りかなは必要だと思う。 定期的な見廻りの効果もあり猿の出没はなくなったようだが、イノシシの被害は甚大なものがあり、継続した対策が必要。 実際に捕獲活動をされている方の話もききたい。

(4) 文化

事業名	意見
里神楽事業	地域の方に伝統文化に興味を持っていただけるようにリーフレットの写真等に工夫をこらす必要がある。 各地区で行われる神楽のことなのか、この里神楽は何を示すのか理解できていない。差別化をする必要がある。
文化財広報活動事業	妙円寺石塔群も美しくなり、もっとアピールを他県、他地区にも行い人流を増やすきっかけになればと思う。 回覧にかわる情報発信・周知の手段の検討が必要。各種集会や小中学校での広報・学習支援などを生かしたい。
はんぴどん顕彰事業	はんぴどん紙芝居DVDを活用し、はんぴどん顕彰をがんばって欲しい。 生目小まつりが廃止になってなかなか関わりが少なくなっていると感じる。代替の方法を見つけるべき。

(5) 総務

事業名	意見
生目音頭保存事業	様々な行事に参加していただき、伝承することができていると思う。 新しい地区（心町など）人数が多い所で行うと、もともと生目の出身でない方も生目を好きになるきっかけになるのではと思う。
広報運営事業	

4. 検討事項